

(11月の果実見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	入荷量(t)	占有率(%)	
みかん類		27,868	75	29,012	149	145	171	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・極早生から早生へ転換期となり、入荷量は日々増加。 ・主力の愛媛産は裏年に加え、天候不順により、着果数少なく、入荷量は大幅減の見込み。 ・九州産地は長雨、台風の影響また高齢化による作付減等により入荷量は前年を2割程度下回る見込み。 ・全体の入荷量は前年を2割強下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。
りんご類		8,400	96	8,629	244	110	237	2,458	29.3	<ul style="list-style-type: none"> ・主産地全般に気象災害もなく順調な生育となっている。前年が豊作であったことから、入荷量は前年をやや下回る見込み。価格はみかん類の入荷減により引き合い強まり堅調に推移する見込み。
りんご(ふじ)		5,701	100	5,851	259	100	246	2,127	37.3	<ul style="list-style-type: none"> ・長野産は気象災害なく順調。36玉中心で入荷量はほぼ前年並。 ・青森産は中旬からの入荷予定。生育は順調で豊作であった前年とほぼ同程度の入荷となる見込み。
りんご(王林)		790	100	846	186	110	192	183	23.2	<ul style="list-style-type: none"> ・長野産は作柄良好で昨年並みの入荷。 ・青森産はふじ同様中旬頃からの入荷予定、作柄は良好。 ・テレビの影響により近年にない高値で推移しているが、11月には落ち着く気配。
りんご(ジョナゴールド)		924	100	889	192	105	203	30	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・青森産は中旬頃から有袋へ切り替わる。やや小玉傾向だが入荷量は前年並の見込み。
かき類		9,913	88	8,908	157	140	203	495	5.0	<ul style="list-style-type: none"> ・今年は裏年で着果量が少なく、地域によっては台風の影響による正品果率の低下により、入荷量は前年を大幅に下回る見込み。昨年は豊作により価格は低迷したが、今年は前年を大幅に上回る価格で推移する見込み。
かき(富有)		3,472	90	3,955	174	135	219	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡産は台風の影響で入荷量は大幅減の見込みだが、果実肥大は平年並で品質は良好。 ・奈良産は台風被害もなく作柄は良好。前年が豊作であったことから、入荷量は前年を1割程度下回り、価格はほぼ平年並の見込み。果実肥大、着色、食味とも良好。

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	入荷量(t)	占有率(%)	
かき(平核無)		3,923	75	2,959	139	145	188	460	11.7	・新潟産は台風の影響はないものの春先の低温、夏季の日照不足、また裏年にあたるため、入荷量は前年を2割程度下回る見込み。 ・和歌山産は天候不順の影響で着果不足、果実肥大が悪く、入荷量は前年を大幅に下回る見込み。
なし類		2,793	90	1,897	209	105	260	1,380	49.4	・日本なしは晩生の新興、西洋なしはラ・フランスが本格出荷をむかえる。 ・日本なしは、作付減と主産地の台風被害や小玉果のため入荷量は前年を3割程度下回る見込み。 ・西洋なしは作柄は概ね良好であるが、昨年が豊作であったことから、入荷量は前年をやや下回る見込み。 ・日本なし、西洋なしともに食味良好で価格は前年を上回る見込み。
なし(ラ・フランス)		1,420	90	1,155	230	108	274	1,372	96.6	・やや着果不足により、豊作であった前年に比べ入荷量は1割程度下回る見込み。果実肥大は18、20玉中心でやや小玉傾向。品質、食味は良好。
いちご類		921	100	771	1,485	105	1,712	2	0.2	・栃木の「とちおとめ」に続き、福岡「あまおう」、佐賀「さがほのか」、静岡「紅ほっぺ」の入荷が始まる。主産地の作柄はおおむね良好で入荷量はほぼ前年並、静岡の「紅ほっぺ」は品種更新も進み入荷増の見込み。みかん類が品薄のため、販売環境は良好の見通し。
メロン類		910	90	1,076	613	108	652	9	0.9	・熊本産は作柄はおおむね良好だが作付面積の減少により、入荷量は前年を2割程度下回る見込み。やや小玉傾向ではあるが品質は良好。 ・静岡産は天候不順による生育の遅れは回復してきているが、作付面積の減少により、入荷量は前年を1割程度下回る見込み。
ぶどう類		651	65	471	599	120	673	34	5.3	・大粒系は終盤となり入荷量は日々減少。 ・中心となる長野産「巨峰」は前年が大豊作であったことから、今年の入荷量は前年比6割、価格は大幅な数量減となるものの2割高での推移となる見込み。